

所へ避難を率先する役割など、自分の避難に支障のない範囲でできる防災や救助の役割を分担してもらおう、来年度見直しをする地域防災計画の中でも位置付けたいと考えています。

総務課長

簡易トイレの地域の配分と種類は、簡易トイレ一式としまして凝固剤と目隠しテント、便器については洋式で、簡単に組み立てて直ぐに使えるものになっていきます。それぞれ五十個準備していますが、町内十箇所程度の避難場所に設置できればと考えています。

要援護者支援の対策につきましては、只今、名簿は作成しておりますが、十分な対策はできていません。自主防災組織等で、それぞれどんな対応ができるか、協議していただいているところです。

牟岐バイパス進捗状況と今後の見通しは

櫻谷議員

このルートに係る用地立会、用地交渉の状況は、商店、町民への説明会等は、今後どうされるのか。

海部病院の移転については、問題になるのは、埋蔵文化財の調査と地域の排水だと思えますが、短期間に最優先の事業として取り組まなければなりません。この病院の移転ができるよう、町長をはじめ、町議も重大な覚悟で取り組んで行かなければならないと思います。

牟岐バイパス事業では、東北級の津波が来るとすれば高さが足りません。そこで、牟岐バイパスからさらに高台への道路も検討していく必要があるかと提案

します。牟岐バイパスの工事時期、完成時期、進捗状況をお聞かせください。

町長

供用開始の時期は、順当にいつて平成二十八年度とことです。用地立会、用地交渉及び説明会の開催などの今後の予定は、今年二月に公表された国土交通省の事業計画においては、二十三年度末における事業進捗率は十二%で、調査設計を実施中とのことです。

二十四年度は引き続き調査設計を行い、大谷地区の用地買収にも着手する予定とのことです。用地立会は杉谷、山田地区は三月十四日から実施する予定です。

河川の土砂撤去及び改修、清掃に関して

森 定雄 議員

牟岐川は、数年来の雨で土砂が溜まり雑木、雑草が生え、川の幅が狭くなっています。川底が数メートル

も上がっている所もあり、水田の用水路に水が来ないなどの問題が生じています。また、洪水によって、堤防、



舗装された牟岐川堤防(川長)

土手の崩壊の危険箇所が数箇所あります。土砂の影響かどうか分かりませんが、川魚が数種類も極端に減っています。そして、夏場河原で多くの方々が川遊びをして楽しんでいますが、安心して遊べる場所が必要だと思えます。

いつ来るとも知れない南海、東南海地震に対して津波の防災、河川の洪水被害、遊び場、水の確保、環境、景観面の観点から土砂を撤去し、雑草などの整備が必要だと思えます。

観音寺川の土砂撤去の予

定も併せて今後の対応、対処予定など説明をお願いします。

町長

元来河川の維持管理は、災害防止、河川の適正利用、環境保全の観点から河川の多面的機能を十分発揮できるように行われるべきです。

近年土砂の堆積により、多くの河川では下流部分の川床高が起こっています。堆積土砂の撤去が適正に行えないため、雑木や雑草の繁茂、排水有効面積の減少、川床の上昇による堤防崩壊